

元気企業
訪問

西宮地域商品
開発研究会

西宮を発信できる 土産物を開発 法人向けの ギフトカタログも制作



西宮の風景を商品化

同会の母体メンバーは、地域情報を発信するウェブサイト「西宮流(にしのみやスタイル)」の運営会社、EUCサポート社長の木下あきこさんと編集室代表の岡本順子さん。かねてより「物に載せて西宮らしさを発信したい」と考えていた2人は、「西宮らしさって何やる」と考えるうち、誰もが山、海、川、街並みを真っ先に挙げることから「風景を表現しよう」と思い立ちました。かつて取材したことのある段ボールクラフト製作を手掛ける小寺誠さんに持ち掛け、西宮の風景を段ボールクラフトに。カットした段ボール材を8枚重ねて奥行きを出しました。手始めに関西学院大学のキャンパスを題材にしたところ、ちょうど開学125周年のタイミングと重なり、大学のノベルティとしての販売が決まりました。

次なる展開を考えていた折、西宮商工会議所からひょうご産業活性化センターが支援している「異業種交流活性化支援」事業の紹介を受け、本腰を入れて西宮を発信できるものづくりに取り組むことに。模型店、化粧品製造、雑貨販売などの15人ほどに声を掛け、西宮地域商品開発研究会を発足しました。まずは段ボールクラフ

トを「西宮風景箱」としてシリーズ化しようと、新たに6つの風景を選定。アニメ「涼宮ハルヒの憂鬱」の聖地としても知られる阪急西宮北口駅前公園に立つ時計塔のデザインを手掛けた、ドゥ・セールス・プロモーションの山下雅章さんにデザインを依頼し、甲子園球場、甲山、夙川、酒蔵、西宮神社、ヨットハーバーを風景箱に仕立て上げました。ららばーと甲子園で販売しており、「今住んでいる人の他に、かつて西宮に住んでいた人の郷愁もくすぐっているようです」と木下さんは話します。

西宮の土産を求める声に応える

風景箱の次に開発したのが、人気の紅茶店ムレスナティーハウスの協力を得て実現したフレーバーティー「にしのみやオーバージュア(序曲)」です。2016年11月に開かれた「にしのみや産

業フェア」に出展すると、ある法人から「顧客への手土産として西宮らしいものを探していたがこれなら使えそう」と声が掛かり、販売契約が決まりました。手土産にするのであれば箱包装が必要と、かつて取材した包装会社に相談。低コストでできるパッケージの提案を受け、今年6月に完成しました。

その後、多くの法人が西宮を発信できる手土産を求めていることを知り、本年度からは、西宮ギフトセレクション研究会へ発展的に改組し、法人向けギフトカタログを冊子にして発行することにしています。現在は、手土産になりそうな商品がないか、西宮市内の法人にヒアリングをしています。



商品化した「西宮風景箱」と「にしのみやオーバージュア」

地域情報発信サイトの運営で積み上げてきた人脈を生かしながら、商品開発のテーマや開発の過程で生じる課題を異業種のメンバーで議論し、

事業を前進させている西宮地域商品開発研究会。「西宮風景箱」で協業した小寺さんとデザイナーの山下さんは、その後も連携して別案件の段ボー

ルクラフトを商品化するなど、グループ内では異業種交流の良い波及効果も生まれています。

会社概要
西宮地域商品開発研究会

所在地 西宮市甲子園八番町1-100ららぽーと甲子園2F
クリエートにしのみや内

代表 木下あきこ
TEL 0798-41-7676

支援メニュー講座

異業種交流活性化支援

ひょうご発のイノベーションを起こそう!

異業種交流活性化支援事業の概要

(1) 対象事業

異なる業種の中小企業者等で構成されるグループが実施する新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等をテーマにした異業種交流事業

(2) 支援の内容

①異業種交流事業に必要な経費の補助（県補助金）

- ・補助期間：2年以内
- ・補助額：1グループあたり上限額1,500千円／2年間（補助率：定額）
- ・補助対象者：県内の商工会議所、商工会、兵庫工業会、兵庫県工業技術振興協議会の会員企業を中心メンバーとして活動する異業種交流グループ

②ひょうご産業活性化センターによる各種支援の実施

- ・相談窓口の設置（異業種連携相談室）
- ・各分野の専門家（製造・販売・金融・技術・デザイン等）からなる異業種連携アドバイザー等による専門的な助言の実施
- ・異業種グループの連携・交流促進（活動事例報告会、交流会、課題解決実践セミナー等）

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部 異業種連携相談室 TEL 078-977-9073